

令和8年度 情報の公表

目 次

I 学校法人三幸学園 小田原短期大学の概要

II 事業の概要

- 1 大学の教育研究上の目的
- 2 教育研究上の基本組織
- 3 教育組織、教員の数、各教員が有する学位及び業績
- 4 入学者に関する受け入れ方針、入学者の数、収容定員、在学する学生の数、卒業または修了した者の数、就職者数その他進学及び就職等の状況
- 5 授業科目、授業の方法及び内容、年間の授業計画
- 6 学修の成果に係る評価、卒業または修了の認定にあたっての基準
- 7 校地校舎等の施設及び設備、その他学生の教育研究環境
- 8 授業料、入学金その他の大学が徴収する費用
- 9 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援
- 10 その他

III 学校法人三幸学園における財務の概要

学校法人三幸学園ホームページ 情報公開 学校の財務／主な規約 参照

<https://www.sanko.ac.jp/disclosure/>

学 校 法 人 三 幸 学 園
小 田 原 短 期 大 学

I 学校法人三幸学園 小田原短期大学の概要

(1) 建学の精神(昭和32年開学)

女子を 人として教育する
女性として教育する
国民として教育する

建学の精神(今日的解釈)

変容する社会に対応できる幅広い教養と
実践的な知識・技能を身につけた、
社会の形成者を教育する

(2) 沿革

1957 (S32年)	3月	学校法人小田原女子学院設立
1957 (S32年)	4月	小田原女子学院短期大学家政学科設置
1958 (S33年)	4月	栄養士養成施設として指定
1960 (S35年)	11月	小田原女子学院短期大学を小田原女子短期大学に改称
1969 (S44年)	4月	小田原女子短期大学附属保育専門学校設置 保母養成校として指定
1971 (S46年)	1月	附属保育専門学校 幼稚園教諭養成機関として指定
1972 (S47年)	4月	小田原女子短期大学幼児教育学科設置
1978 (S53年)	2月	学校法人小田原女子学院を学校法人小田原女子短期大学に改称
1979 (S54年)	5月	小田原女子短期大学附属保育専門学校を小田原女子短期大学附属保育学院に改称
1987 (S62年)	3月	小田原女子短期大学附属保育学院を廃止
2005 (H17年)	3月	栄養教諭二種免許状授与の課程認定(家政学科)
2006 (H18年)	4月	小田原女子短期大学既設両学科の入学定員及び名称変更(家政学科100名を食物栄養学科60名に、幼児教育学科100名を保育学科140名に)
2014 (H26年)	4月	学校法人三幸学園と合併(存続法人は学校法人三幸学園) 小田原女子短期大学を小田原短期大学に改称 保育学科に通信教育課程を設置
2016 (H28年)	4月	食物栄養学科及び保育学科通信教育課程の入学定員変更(食物栄養学科60名を80名に、保育学科通信教育課程170名を1700名に)
2018 (H30年)	4月	保育学科通信教育課程の入学定員変更(1700名を2200名に)
2025 (R7年)	4月	保育学科入学定員変更(140名を90名に)
2026 (R8年)	4月	通学課程共学化 ライフデザイン総合学科通信教育課程を設置

(3) 設置学科

食物栄養学科
保育学科
保育学科通信教育課程
ライフデザイン総合学科通信教育課程

(4) 学校法人三幸学園の役員に関する情報 (令和8年4月1日現在)

区 分		人 数
役員	理 事	8 名
	監 事	3 名
	計	11 名
評 議 員		10 名

II 事業の概要（令和8年5月1日現在）

1 大学の教育研究上の目的

(1) 目的

(目的) 学則より抜粋

第 2 条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神のもと、教養教育の基礎の上に食物栄養と保育に関する専門知識と社会人としての幅広い教養を身につけた人材を育成する。

2 食物栄養学科は、人々のライフサイクルに対応した健康づくりに貢献する栄養士及び栄養教諭の養成を主たる目的とする。保育学科は、子どもの人権を守り、暮らしの場面で子どもと向き合う人間性と専門性を備えた子どもの自立を支援する保育士及び幼稚園教諭の養成を主たる目的とする。ライフデザイン総合学科は、生活者として実社会を豊かに生きるために幅広く多角的な視点から諸課題を発見・解決する人材の養成を主たる目的とする。

(教育理念)

「技能と心の調和」

(2) 収容定員

	入学定員	収容定員
通学課程	170	340
通信教育課程	2,600	4,800

・収容定員充足率

	収容定員数	在籍者数	収容定員充足率
食物栄養学科	160	179	111.9%
保育学科	180	155	86.1%
保育学科通信教育課程	4,400	4,292	97.5%
ライフデザイン総合学科通信教育課程	400	24	6.0%

2 教育研究上の基本組織

大学名	学科・課程・専攻等
小田原短期大学	食物栄養学科
	保育学科
	保育学科 通信教育課程
	ライフデザイン総合学科 通信教育課程

3 教育組織、教員の数、各教員が有する学位及び業績

(1) 教員組織

食物栄養学科	教授	7 名
	准教授	3 名
	講師	1 名
	助教	0 名
	助手	0 名
保育学科	教授	5 名
	准教授	4 名
	講師	2 名
	助教	0 名
保育学科通信教育課程 ※通学課程との兼務者は除く	教授	2 名
	准教授	32 名
	講師	32 名
	助教	16 名
ライフデザイン総合学 科通信教育課程 ※通学課程との兼務者は除く	教授	5 名
	准教授	3 名
	講師	2 名
	助教	0 名

小田原短期大学 学長 上野 奈初美
食物栄養学科 学科長 塩川雅史
保育学科 学科長 野津直樹
ライフデザイン総合学科 学科長 小祝慶紀

(2) 専任教員と非常勤教員

・専任教員、非常勤教員の数

学科名	専任教員数					設置基準で定める 基幹教員数 〔イ〕	短期大学全体の 入学定員に 応じて定める 基幹教員数 〔ロ〕	設置基準で定める 教授数	非常勤 教員数
	教授	准教授	講師	助教	計				
食物栄養学科	7	3	1	0	11	5	-	2	6
保育学科	5	4	2	0	11	8	-	3	24
保育学科通信教育課程	2	32	32	16	82	10	-	3	203
ライフデザイン総合学科通信教育課程	5	3	2	0	10	8	-	3	8
(小計)	19	42	37	16	114	31	-	11	209
〔その他の組織〕	0	0	0	0	0	-	-	-	-
短期大学全体の入学 定員に応じて定める 基幹教員数〔ロ〕	-	-	-	-	-	-	4	2	-
合計	19	42	37	16	114	22		8	209

・専任教員と非常勤教員の比率

学科名	専任教員	非常勤教員
食物栄養学科	64.7%	35.3%
保育学科	31.4%	68.6%
保育学科通信教育課程	28.8%	68.6%
ライフデザイン総合学科通信教育課程	55.6%	68.6%

・専任教員の構成

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男性	0	4	8	7	8	1	28
女性	1	19	26	23	17	0	86
計	1	23	34	30	25	1	114

・専任教員一人あたりの学生数

	食物栄養学科	保育学科	通信教育課程
教員一人当たり学生数	16.3	14.1	2.4

(3) 教員の学位

・専任教員の学位保有状況

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
博士	0	3	8	8	7	0	26
修士	1	19	26	22	16	1	85
学士	0	1	0	0	1	0	2
短期大学士	0	0	0	0	1	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	1	23	34	30	25	1	114

(4) 教員の業績

小田原短期大学「教員調書」より

<https://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

4 入学者に関する受け入れ方針、入学者の数、在学する学生の数、卒業または修了した者の数、就職者数その他進学及び就職等の状況

(1) アドミッションポリシー

本学は、建学の精神に基礎を置き、教育理念・教育目標に定める人材を育成する目的にそって、入学者を適正に選抜するため多様な選抜方法を実施します。本学に入学する人として、本学での学修を通じ社会で自立・活躍できる知識・技能を身につけようとする目的意識や意欲的に学ぼうとする姿勢を持ち、専門分野の知識と課題解決力を身に付けるための基礎的学力を有する人を期待します。本学では、自分の考えを口頭で他者にわかりやすく伝えられる能力を求めるため、すべての入学者選抜試験において面接試験を実施します。

- (1) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- (2) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身に付けている。
- (3) 様々な問題について、自らの知識や情報をもとにして、わかりやすく人に説明することができる。
- (4) 学びたい学科の専門に対する興味や関心を抱き、専門的な知識や技術を社会で活かしたいという意欲がある。
- (5) 入学前教育で求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身に付けるためのプログラムに取り組むことができる。

《食物栄養学科》

- (1) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- (2) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身に付けている。
- (3) 高等学校（またはこれに準ずる学校）までの家庭科分野での学びを自らの食生活に生かす努力をし、また、これまでの学びをわかりやすく人に説明することができる。
- (4) 健康的な食生活のリーダーである食の専門家の使命を理解し、家族や身近な人、および病気や障害のある人の健康を支えて地域・社会の役に立ちたいと考えている。
- (5) 入学前教育で求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身に付けるためのプログラムに取り組むことができる。

《保育学科 通学課程・通信教育課程》

- (1) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- (2) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身に付けている。
- (3) 様々な問題について、自らの知識や情報をもとにして、わかりやすく人に説明することができる。
- (4) 子どもの発達やかかわり方に興味関心があり、基礎的な学力と思考力・行動力を有している。
- (5) 子どもや保護者などの支援をするために幼稚園教諭や保育士になろうという意欲がある。
- (6) 入学前教育で求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身に付けるためのプログラムに取り組むことができる。

《ライフデザイン総合学科 通信教育課程》

- (1) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身につけている。
- (2) 様々な問題について、自らの知識や情報をもとにして、わかりやすく人に説明することができる。読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身に付けている。
- (3) 高等学校（またはこれに準ずる学校）までの家庭科分野での学びを自らの生活や家庭に活かす努力をし、また、これまでの学びをわかりやすく人に説明することができる。
- (4) 自立した将来を創る意欲を持ち、家族や身近な人を支え地域・社会の役に立ちたいと考えている。

(2) 教育目的と求める人物像

教育理念

技能と心の調和

教 育 目 標

- ・ 自他ともに敬い愛する人として教育する
- ・ 豊かな知性と感性溢れる人として教育する
- ・ 健やかな家庭 社会を担う人として教育する

(3) 在籍者数

学年	1 年	2 年	合計
食物栄養学科	100	79	179
保育学科	90	65	155
保育学科通信教育課程	2, 245	2, 047	4, 292
ライフデザイン総合学科通信教育課程	24	—	24

※外国人留学生は0名

・ 退学、除籍者数

学科	5/1 在籍者数 (A)	退学・ 除籍者数 (B)	中退率 (B/A%)
食物栄養学科	179	2	1. 1%
保育学科	155	4	2. 6%
保育学科通信教育課程	4, 292	371	8. 6%

※外国人留学生は0名

※令和7年度実績

・ 留年者数、留学生数、社会人入学生

学科	留年者数	留学生数及び海 外派遣学生数	社会人入学生
食物栄養学科	1	0	11
保育学科	0	0	2
保育学科通信教育課程	216	0	242
ライフデザイン総合学科通信教育課程	—	0	2

※外国人留学生は0名

※社会人入学生は令和7年3月31日現在で満25歳以上の者

・ 入学者数推移

学科	令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
食物栄養学科	63	63	62	86	82	82	129	100	100
保育学科	81	79	78	71	71	70	91	91	90
保育学科通信教育課程	2, 343	2, 341	2, 246	2, 242	2, 212	2, 119	2, 319	2, 308	2, 211
ライフデザイン総合学科通信教育課程	—	—	—	—	—	—	28	24	24

※外国人留学生は0名

(4) 卒業者数（学位授与数）及び卒業後の進路

・食物栄養学科

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卒業者数（学位授与数）	75	74	61
就職希望者数	70	68	50
就職者数	70	68	50
就職率	100.0%	100.0%	100.0%
専門職への就職者数	54	47	37
専門職への就職率	77.1%	69.1%	74.0%
進学者数	2	1	2

※外国人留学生は0名

・保育学科

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卒業者数（学位授与数）	110	95	74
就職希望者数	105	94	71
就職者数	105	94	71
就職率	100.0%	100.0%	100.0%
専門職への就職者数	96	83	62
専門職への就職率	91.4%	88.3%	87.3%
進学者数	0	0	0

※外国人留学生は0名

・保育学科 通信教育課程

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卒業者数（学位授与数）	1,880	2,056	1,896

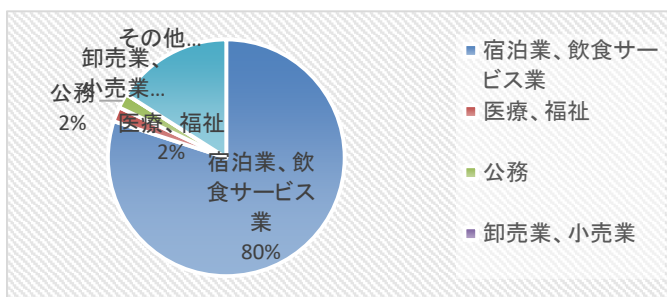
※外国人留学生は0名

・業種、職種別就職割合

【食物栄養学科】

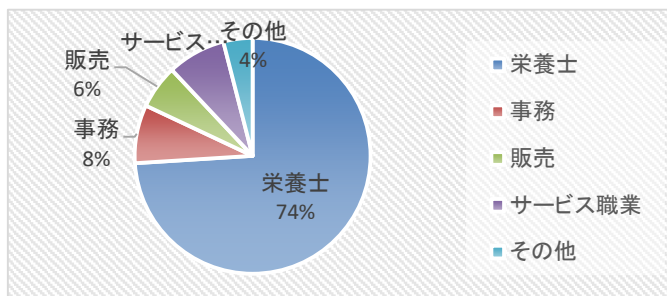
産業別

業種	割合	人数
宿泊業、飲食サービス業	80.0%	40
医療、福祉	2.0%	1
公務	2.0%	1
卸売業、小売業	0.0%	0
その他	16.0%	8
計	100.0%	50



職種別

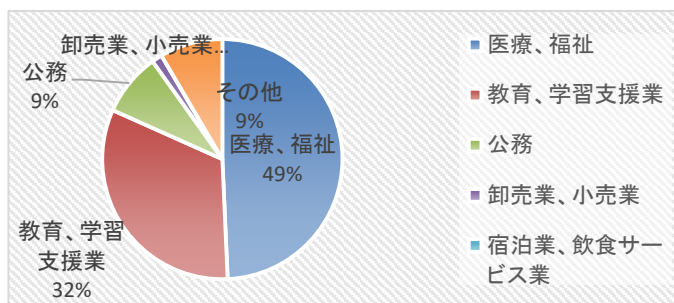
職種	割合	人数
栄養士	74.0%	37
事務	8.0%	4
販売	6.0%	3
サービス職業	8.0%	4
その他	4.0%	2
計	100.0%	50



【保育学科】

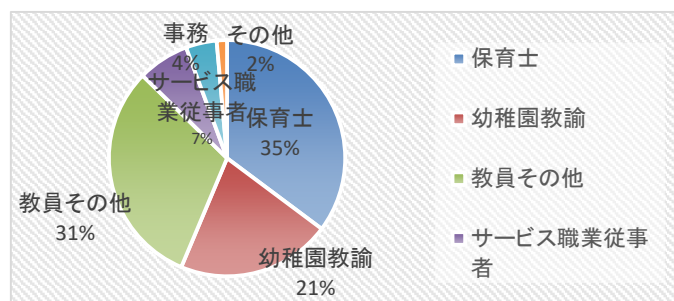
産業別

業種	割合	人数
医療、福祉	49.3%	35
教育、学習支援業	32.4%	23
公務	8.5%	6
卸売業、小売業	1.4%	1
宿泊業、飲食サービス業	0.0%	0
その他	8.5%	6
計	100.0%	71



職業別

職種	割合	人数
保育士	35.2%	25
幼稚園教諭	21.1%	15
教員その他	31.0%	22
サービス職業従事者	7.0%	5
事務	4.2%	3
その他	1.4%	1
計	100.0%	71



・専門職への就職の内訳

【食物栄養学科】

対象	割合	人数
給食会社	62.2%	23
公務員	2.7%	1
病院・社会福祉施設	2.7%	1
保育園	32.4%	12
計	100.0%	37

【保育学科】

対象	割合	人数
保育所	43.5%	27
幼稚園	8.1%	5
こども園	32.3%	20
社会福祉施設	16.1%	10
計	100.0%	62

5 授業科目、授業の方法及び内容、年間の授業計画

(1) 開設授業科目

小田原短期大学「学則」より

<https://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

(2) 授業計画（シラバス）

小田原短期大学「シラバス」より

<https://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

(3) 取得できる免許・資格

食物栄養学科	・栄養士免許 ・栄養教諭二種免許 ・食生活アドバイザー
保育学科	・保育士 ・幼稚園教諭二種免許
保育学科通信教育課程	・幼稚園教諭二種免許 ・保育士 ※専攻科に進み3年課程により取得
共通	・准学校心理士 ・社会福祉主事任用資格 ・医療事務検定 ・チャイルドボディセラピスト ・おもちゃインストラクター ・こども運動指導者検定 ・チャイルドセーフティネイチャーリーダー ・食育インストラクター

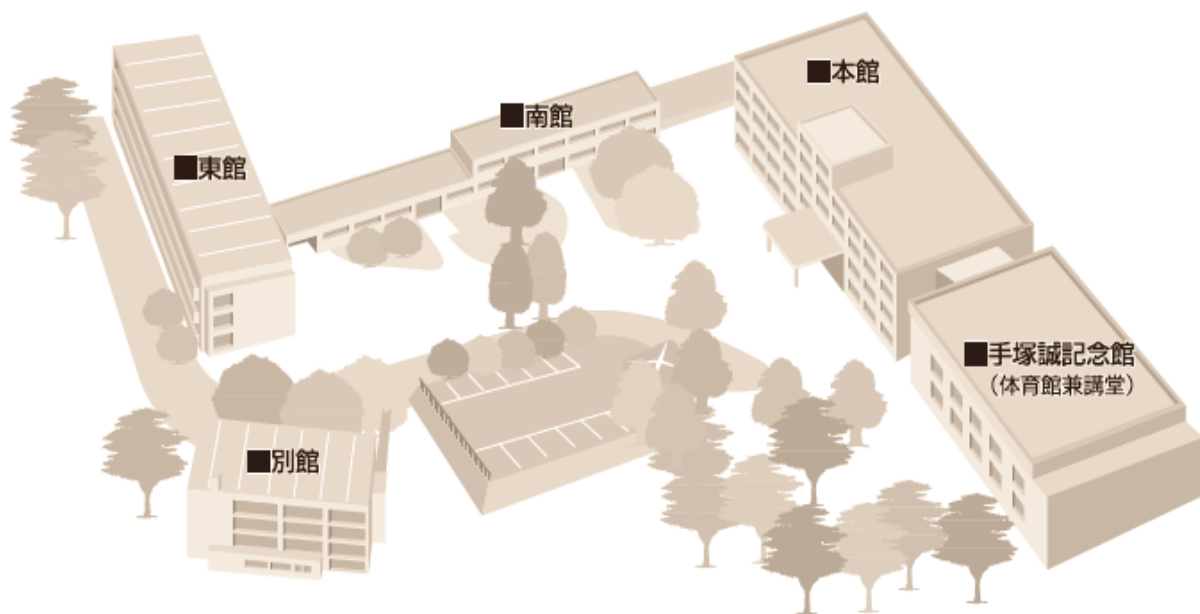
6 学修の成果に係る評価、卒業または修了の認定にあたっての基準

学部・研究科等	修業年限	必要修得単位数	科目ごとの修得単位数		取得可能な学位及び専攻名称
			教養	専門	
食物栄養学科	2年	62 単位以上	8 単位以上	40 単位以上	短期大学士(家政学)
保育学科	2年	62 単位以上	14 単位以上	48 単位以上	短期大学士(保育学)
保育学科通信教育課程	2年	62 単位以上	10 単位以上	52 単位以上	短期大学士(保育学)
ライフデザイン総合学科通信教育課程	2年	62 単位以上	20 単位以上	42 単位以上	短期大学士(ライフデザイン)

7 校地校舎等の施設及び設備、その他学生の教育研究環境

(1) キャンパス概要

学内校舎略図



校地面積：12,200.01㎡

校舎面積：8,683.28㎡

・本館

4F 自治会室

3F 大教室、中教室、小教室（2）、保育演習室、造形工作室、造形準備室

2F 大教室、中教室、小教室（2）、小児保健実習室、学習・実習サポートセンター、共同研究室

1F 理事長・学長室、事務室、学科室（2）、講師室、就職資料室、応接室、印刷室、PC教室、保健室、会議室（2）

BF 調理実習室、調理準備室、食品加工実習室、理化学実験室（1）、試食室、集団給食室、理化学備品庫、理科学実験準備室、更衣室、機器室

- ・ 東館
3F 学生ホール、学生自習室、会議室
2F 図書館、図書館事務室、音楽準備室
1F リトミック室、音楽レッスン室（5）、ピアノレッスン室（6）

- ・ 南館
1F ピアノレッスン室（9）

- ・ 手塚誠記念館
2F 観覧席
1F 体育館、ステージ
BF 視聴覚ホール、体育準備室、更衣室、会議室

- ・ 研究棟
4F 教員研究室（12）
3F 教員研究室（10）、印刷室
2F 教員研究室（7）、学内諸団体室（4）
1F 共同実験研究室、学生相談室、茶華道室

- ・ 小田原短期大学図書館
<https://koueki.net/library/odatan/>

- ・ 小田原短期大学運動場
徒歩25分（小田原市十字4丁目1060番1 他、合計面積 5,870㎡）

（2）アクセス

<https://www.odawara.ac.jp/about/access/index.html>

（3）学生自治会及びクラブ活動

「学生自治会活動」

- ・ 小峰祭 自治会2日目・表彰式企画、運営
- ・ 自治会定期総会の企画、運営
- ・ 学生・学校連絡会の企画、運営
- ・ 謝恩会贈呈品決定

「クラブ活動・同好会」

- ・ スポット愛好会 ・ スポーツクラブ ・ 小田原短期大学よさこいクラブ
- ・ 茶道部 ・ 折り紙クラブ ・ バンド部

8 授業料、入学金その他の大学が徴収する費用

（学費等）

（単位：円）

食物栄養学科		1 年次			2 年次		
		前期	後期	合計	前期	後期	合計
学費	入学金	340,000	－	340,000	－	－	0
	授業料	375,000	375,000	750,000	375,000	375,000	750,000
	施設設備費	120,000	120,000	240,000	120,000	120,000	240,000
	学生諸費	15,000	15,000	30,000	15,000	15,000	30,000
	計	850,000	510,000	1,360,000	510,000	510,000	1,020,000
その他	自治会費	10,000	－	10,000	－	－	0
	後援会費	40,000	－	40,000	－	－	0
	計	50,000	0	50,000	0	0	0
合計		900,000	510,000	1,410,000	510,000	510,000	1,020,000

保育学科		1 年次			2 年次		
		前期	後期	合計	前期	後期	合計
学費	入学金	340,000	-	340,000	-	-	0
	授業料	385,000	385,000	770,000	385,000	385,000	770,000
	施設設備費	120,000	120,000	240,000	120,000	120,000	240,000
	学生諸費	15,000	15,000	30,000	15,000	15,000	30,000
	計	860,000	520,000	1,380,000	520,000	520,000	1,040,000
その他	自治会費	10,000	-	10,000	-	-	0
	後援会費	40,000	-	40,000	-	-	0
	計	50,000	0	50,000	0	0	0
合計		910,000	520,000	1,430,000	520,000	520,000	1,040,000

(卒業準備金)

費用 (円)	納付時期	対象	概要
24,000	2年次の後期学費納付期	通学課程	卒業謝恩会、同窓会費

保育学科 通信教育課程		1 年次	2 年次	専攻科
学費	入学金	20,000	-	20,000
	授業料	270,000	270,000	130,000
	学習管理費	5,000	5,000	5,000
	計	295,000	275,000	155,000
その他	学生証発行料	500	-	-
	同窓会	-	5,000	-
	卒業記念品代	-	3,000	-
	計	500	8,000	-
合計		295,500	283,000	155,000

ライフデザイン総合学科 通信教育課程 ベーシックプラン		1 年次	2 年次
学費	入学金	20,000	-
	授業料	300,000	300,000
	学習管理費	5,000	5,000
	計	325,000	305,000
その他	学生証発行料	500	-
	同窓会費	-	5,000
	卒業記念品代	-	3,000
	計	500	8,000
合計		325,500	313,000

ライフデザイン総合学科 通信教育課程 キャリアサポートプラン		1 年次	2 年次
学費	入学金	20,000	-
	授業料	300,000	300,000
	学習管理費	5,000	5,000
	キャリアサポー	300,000	300,000
	計	625,000	605,000
その他	学生証発行料	500	-
	同窓会費	-	5,000
	卒業記念品代	-	3,000
	計	500	8,000
合計		625,500	613,000

9 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

(1) 学習支援

- ・入学前教育（スタートアッププログラム、ピアノ初心者セミナー）
- ・オリエンテーション
- ・履修相談会
- ・新入生歓迎会
- ・卒業研修
- ・保証人会
- ・カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、ナンバリング
- ・クラス担任制(教員)
- ・キャンパスアドバイザー制（職員）

(2) 資格取得支援

- ・教育支援相談（履修相談支援、資格・免許相談支援）
- ・資格取得支援（医療事務検定、チャイルドボディセラピスト、おもちゃインストラクター、食育インストラクター、こども運動指導者検定、チャイルドセーフティネイチャーリーダー）

(3) 就職・進学支援

- ・キャリアセンターによるキャリア支援（就職支援・求人開拓・進学支援）
- ・キャンパスアドバイザー（CA）により就職個別対応
- ・就職資料室
- ・公務員試験対策講座
- ・企業合同説明会・園施設合同説明会
- ・内定者懇談会
- ・OG懇談会

(4) 健康支援

- ・学生支援センターによる健康支援
- ・校医との連携による定期的な健康指導
- ・消毒液の設置

(5) 相談支援

- ・キャンパスアドバイザー（CA）による相談支援（学校生活支援）
- ・学生相談室（スクールカウンセラー）
- ・学生意見箱の設置

(6) その他

- ・所管警察署との連携（講演会の実施、その他情報共有）
- ・奨学金・育英金支援

10 その他

(1) 学則等

小田原短期大学「学則」より

<https://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

(2) 教育力向上の取組活動

- ・学生による授業評価アンケート
- ・学生学修行動調査の実施
- ・学生満足度調査の実施
- ・卒業生調査の実施
- ・授業方法についての研究会及び研究授業
- ・教員相互の授業参観
- ・教職員研修会の開催（SD研修・FD研修）
- ・新任教員のための研修会
- ・履修カルテ指導による学生の学習課題の把握
- ・長期履修制度（3年コース）

(3) 社会貢献・産官学連携

- ・おだたん食育村
本学で実施する地域貢献を目的とした、地産地消および食育の提供
- ・おだび子育て支援センター
小田原市の指定管理者として運営する子育て支援センター、学生の学びの場にもなっている
- ・おだたんくらぶ 幼児教室
2～3歳児親子を対象とした表現活動の体験プログラム、教員・学生による協同実施
- ・おだび幼児講座
おだび子育てひろばにて乳幼児親子を対象とした表現活動の体験プログラムを実施

- ・おだぴよ保育ミニレクチャー
おだぴよ子育てひろばにて乳幼児親子を対象とした音楽表現活動の体験プログラムを実施
- ・小田原市保育士会研修
保育者のメンタルヘルスについての研修を実施
- ・保育セミナー
地域の保育者、子育て支援者向けの講座、高大連携事業にもなっている
- ・地域ボランティア
近隣の市町村、社会福祉施設における学生のボランティア活動
- ・おだたんひろば
地域の0～2歳児の親子の遊び場を本学体育館にて実施し、本学ゼミナールが運営
- ・北条五代祭り
小田原市観光協会主催の観光イベントに学生が姫役・侍女役、警備係の役割で参加
- ・おだわらSDGsパートナー登録
- ・茅ヶ崎市内の保育所/こども園での音楽表現遊び
年齢別に園児を対象に音楽遊びを行っている

(4) 国際交流・大学間連携

- ・海外の協定相手校
学生の海外教育機関等への派遣、海外教育機関等との交流は行っていない
- ・海外研修
外部委託し実施している
- ・大学間連携
小田原市内の二大学（国際医療福祉大学）と年に3回連絡協議会を実施し、連携を取っている

(5) 乳幼児研究所

【地域との協同事業】

- ・赤ちゃんひろば
毎月一回、妊娠中の母親、4か月前後の子どもを持つ母親を対象に子育て支援センターおだぴよにて実施
- ・小田原市東口図書館と共同で行事を実施。
- ・おだたんくらぶ 臨床発達相談
発達に困難を抱え、困っている親子の相談(随時実施)。小中学生も対象に拡大

【研修・研究会】

- ・支援教育実践研究会
西湘地区の教員との支援教育に関する研究を行なう。講師を招きオープン研修も実施
- ・西湘こども発達研究会
臨床心理士・臨床発達心理士・学校心理士や保健師など専門職との、子どもの発達・障害等に関する学習、研究を実施。29年度から臨床心理士の資格更新ポイントの認定研修会に認定
- ・現職保育者研修会
現場の保育者と本学の教員が講座や事例検討を通して質の高い保育を考える
- ・絵本プロジェクト
おだたん絵本100を選定。学生の絵本の選書に冊子配布。
- ・創作劇研究会、子どもの歌研究会
よさこい文化を研究し、「おだわらえっさホイ祭り」に参加
- ・小児衛生研究会
アレルギー、保育士・栄養士さん同士の情報を繋ぐ
子ども救命処置や危機管理などの理解も深め「子どもの命を守る保育士・栄養士」を目指す
- ・おもちゃ研究会
積み木のワークショップを実施。定尺の積み木に関して研究を行う